

掛合義太夫で

めて「壽式三番叟」 たい

後八時十分

大阪より中繼

翁
千歳
竹本津太夫
竹本相生太夫



三番叟 竹本長尾太夫
同 竹本播路太夫
同 竹本津の子太夫
同 竹本津麿太夫
三味線 鶴澤綱造
ツレ 鶴澤支衛門
ツレ 鶴澤寛市
ツレ 鶴澤網治
ツレ 鶴澤綱延
ツレ 鶴澤一郎右衛門

夫豊秋津洲の大日本、國常立の尊より天重神七世の後、地神の始天照大神岩戸に籠らせ給ひし時、世は常闇と成りけらし、其時に四方津神、八百万の御神達、神樂に集め給ひ燈火をたいて庭神樂神すしめと木綿襪太祝詞の神歌や式三番の其謂おさおさ申も恐あり、とうとうたりく、ちりやたりく

人形「三番叟」(上)右より津太夫、相生太夫、長尾太夫、播路太夫、津の子太夫、津麿太夫(中)一郎右衛門、綱延、綱河寛市、綱道、諸氏(下)